

## 令和5年度 第3回 政策決定会議 会議録①

- 
- ◆開催日時：令和5年8月30日（水） 16：10～16：30
  - ◆開催場所：第2委員会室
  - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、波積副市長、大下教育長
  - ◆説明者：船橋魅力創造部長、田宮文化国際課長、太田文化国際担当主幹、森川主任
- 

### ◆審議事項

文化創造ビジョン・岸和田 ～文化 花 咲かそう・岸和田～ の策定について

．．．．魅力創造部文化国際課⇒承認

---

### ◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉今までは「文化」だけだったが、「文化・芸術のまち 岸和田」という岸和田市制101年目にふさわしい新機軸を打ち出すビジョンにした。伝統文化に重きを置き、守っていかうという計画から、“創造”していかうというビジョンに転換している。日常生活の中で文化・芸術を“創造”していく。そして、これまでも岸和田市出身の芸術家が育っているが、さらに後継の人たちを輩出したい。

また、岸和田には豊富な農産物・水産物を使った食文化がたくさんある。岸和田の食文化は注目されているので、日常生活の中に根差している食文化を発信していく。さらに、文化・芸術を観光にも結び付けていく。インバウンドのアンケートでも文化や食は上位に入ってくるので、名所や景観に食や体験を加えていく等、結び付けにおいては絶好のチャンスである。

本来であれば、計画は令和6年4月からのスタートにするところだが、すぐに実践するために、目標期間を令和5年度から令和9年度に前倒しにしたというのが、今回の創造ビジョンの改革の目玉である。

今まで国・府の動きを気にせずに計画を策定していたが、芸術や食文化は国・府も注目しているので、それを意識した計画にしている。また、民間の文化施設について意識していくことも新たな視点として盛り込んだ。

文化というのは外交においても重要である。経済だけではギクシャクするところ、文化を加えることによってスムーズになる。国際交流の上で、文化とは何かということをも誰かが説明、PRでき、誇りに思えるようなものにしたい。世界に通用するような岸和田の新しい文化を“創造”する、ということに力を入れながら実践されたい。

〈波積副市長〉外部から岸和田を見たら、だんじりの印象だけが強い。しかし、実際は食文化も含めていろいろなものがある。自然資料館の展示などもその一例である。これらの文化・観光を合わせ、点を線に結び付けないといけない。総合計画とのつながりも考え、全

体の連携ができるようにしたい。

農業振興に関し、国内、海外、インバウンド、この3つが食品にとって重要なマーケットである。その全てについて、岸和田は対向できる資源を持っている。そこに文化ビジョン、観光、最終的には産業振興を合わせた絵も描けるのではないかと、いう意味で、このビジョンは評価できる。

〈教 育 長〉岸和田の定住魅力を高めていく上で、ソフトの中心になるのが教育、子育て、そして文化である。それぞれ外部へ向けて積極的に発信し、岸和田に住みたいと思う人を増やすことが必要である。

多くの文化団体は高齢化・固定化してきているのが現状で、新しい人が入ってこず、新陳代謝が行われぬ、という大きな課題を抱えている。岸和田には素晴らしい文化がある、文化団体が活発に活動している、ということをも市民に広く周知することによって、基本を支える人口を増やしていくことが必要である。

重点目標2に掲げている情報発信について、既存の紙媒体だけでなくSNSを通じて発信するという事は大事である。公民館とも連携しながら共に取り組んでいきたいと考えている。

〈市 長〉岸和田の強みは市民の力が強いということである。文化団体も含めた市民団体は自立的で、市から何かお願いをしなくても自立して活動している。これからの政策の組み立てに必要なことは、その市民のエネルギーを最適化して市全体を豊かにするというイメージを持つことではないかと思う。

文化、歴史、学問と観光はなかなか結び付かないが、今は観光にしっかり結び付け、魅せていくことが大事である。歴史や文化の本分ではないかもしれないが、観光やSNSというアウトプットにしっかりとつなげていくことによって、文化が将来的に守られていくものになる。そういうところを目指して実践されたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和 5年 8月 10日

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

#### 記

付議事項名	文化創造ビジョン・岸和田 ～文化 花 咲かそう・岸和田～ の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔 に記載すること。)	現行のプランが令和5年度中に終期を迎えるため、現在の社会情勢やこれから始まる新しい文化芸術の創造をふまえ、「誰もが心豊かに暮らせる“文化・芸術のまち岸和田”」の実現を目指し、岸和田市文化振興条例第7条に基づく文化振興計画として、新たなビジョンとして策定するもの。
説明者	船橋 魅力創造部長 田宮 文化国際課長 太田 文化国際課 担当主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和5年度 第3回会議
付議事項	文化創造ビジョン・岸和田～文化 花 咲かそう・岸和田～ の策定について

★取組の目的

対象	市民及び文化団体
どのような状態を目指す	「誰もが心豊かに暮らせる文化のまち岸和田」の実現を目指す

★総合計画上の位置付け

101010302	基本目標	I-1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	①生涯にわたって能力を伸ばすことができる
	目指す成果	③多くの市民が豊かで創造性のある芸術・文化に親しんでいる
	行政の役割	イ 市民の芸術・文化活動を支援する

★現状と課題

<現状>  
伝統的な祭りや歴史的景観が評価される一方で、文化芸術イベントの開催や市民による活動の活発さ等についてあまり評価されていない。過去1年間に何らかの文化・芸術を直接鑑賞した人が多い一方、何らかの創造活動を行った人は少ない。ただし文化にふれることについては、大半の人が大切だと感じている。令和2年度から3年度において、新型コロナウイルス感染症により活動の中止・縮小を余儀なくされ、現状もコロナ禍以前の活動水準まで完全には至っていない。

<課題>  
子どもたちや子育て世代、働き盛り世代など幅広い市民の文化への興味や関心を醸成するとともに、次代の文化を担う活動団体の人材の確保し後継者を育成する必要がある。また、文化の役割を再認識し、その価値をより一層高め、特に情報発信の強化により、市民の目に触れやすい文化活動の展開、文化団体による活動の活性化、これから始めたいと思う個人・グループのきっかけづくりなど、情報発信の強化と文化活動の環境づくりを推進し、文化団体会員の確保や後継者の育成が必要である。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
芸術文化普及事業 【毎年度実施】	6,033	6,961	10,156	9,358	9,358	9,358	9,358	9,358
文化団体支援事業 【毎年度実施】	2,231	2,300	2,410	2,410	2,067	2,067	2,067	2,067
文化振興計画推進事業 【毎年度実施】	85	94	626	2,529	94	94	94	94
芸術文化普及事業(100周年記念事業・塩田千春展) 【令和4年8月～令和5年9月末】			12,901					
財源内訳	国費		581					
	府費							
	起債							
	一般財源	8,349	9,355	20,512	14,297	11,519	11,519	11,519
	その他			5,000				
事業費	計			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			60,373	14,297	11,519	11,519	11,519	11,519

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有					
	(無)				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	目標値(めざそう値)							
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
① この1年間に芸術・文化活動を行ったことがある市民の割合	%	37.0	17.4	27.2	-	-	-	30.0	32.0
② 市民一人あたりの文化施設年間利用回数	回	2.2	3.0	-	-	-	-	3.0	3.1

文化施設3館の事業評価 (S:計画以上の効果があった A:ほぼ計画どおりであった B:計画をやや達成できず C:計画を達成できず(省略))

指標銘	文化施設名	4段階評価	単位	R4年度実績		めざそう値
				評価	実績	
③ 1年間で文化施設3館で実施した事業について、全体を100%として4段階評価を行った場合の各評価における割合	浪切ホール	S	%	1.5	5.0	
		A		71.0	80.0	
		B		26.6	15.0	
	自泉会館	S		30.5	35.0	
		A		56.5	60.0	
		B		12.3	5.0	
	文化会館 (マドカホール)	S		3.8	10.0	
		A		84.5	85.0	
		B		5.8	5.0	

※事業費及び人員を確約するものではない。